

古今圖書集成
博物彙編
藝術典
卷之九
雜考
一
繪羅畫

特別
子 13
3856



御定令出文彦

横武人祿

堅き人祿

ふまふ祿

表朱書第花沈金彫金泥府法裏り物あり

別もさ管乞の山物のみ

色も香も世よあふくこもこのまあり

これあきし山物の松のような

豊長志岡山所好自業の文彦と右の葉凡由

山法令の節平山用ひ年日ハ山物あり

山方ワ山物方あり

石入今度天保八年

將軍家あり

大御書行濟莊公首書り山物天保八年

門多
號 931
卷 36

特
門子 13
號 3856
卷

Handwritten text in a cursive script, possibly Latin or a similar European language, written on a page with blue horizontal ruling. The text is partially obscured by a large, dark, scribbled-out area on the left side. A red square seal is visible at the bottom right of the text area.

墨 卷 13

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a document, written on a page with horizontal lines. The text is dense and fills most of the page.



地

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a specific address line.

王守村八金文

王守村

王守村

王守村

王守村

Handwritten text in a cursive script, continuing the document or letter.

九〇

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

二月廿五日 早川 清吉

早川 清吉

二月廿五日 早川 清吉

早川 清吉

二月廿五日 早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

早川 清吉

○二月九日 年終の修へ年書

書

○二月十日 修へ年書

○二月十一日 修へ年書

○二月十二日 修へ年書

○二月十三日 修へ年書

○二月十四日 修へ年書

○二月十五日 修へ年書

○二月十六日 修へ年書

○二月十七日 修へ年書

○二月十八日 修へ年書

○二月十九日 修へ年書

○二月二十日 修へ年書

○二月二十一日 修へ年書

○二月二十二日 修へ年書

○二月二十三日 修へ年書

○二月二十四日 修へ年書

○二月二十五日 修へ年書

○二月二十六日 修へ年書

○二月二十七日 修へ年書

○二月二十八日 修へ年書

○二月二十九日 修へ年書

○二月三十日 修へ年書

○三月一日 修へ年書

○三月二日 修へ年書

○三月三日 修へ年書

○三月四日 修へ年書

○三月五日 修へ年書

○二月九日 年終の修へ年書

○二月十日 修へ年書

○二月十一日 修へ年書

○二月十二日 修へ年書

○二月十三日 修へ年書

○二月十四日 修へ年書

○二月十五日 修へ年書

○二月十六日 修へ年書

○二月十七日 修へ年書

○二月十八日 修へ年書

○二月十九日 修へ年書

○二月二十日 修へ年書

○二月二十一日 修へ年書

○二月二十二日 修へ年書

○二月二十三日 修へ年書

新玉の玉と云ふは別母は才
二天の思ふ如く大群衆中より
諸君の思ふ如く余は早に
始りのみならず其の
御目見狂言我那山の甘き
後日長閑な氣味旅屋
昔年より新玉の玉と云ふ
引續て其の玉と云ふ
はと云ふはと云ふは
の岩を云ふ玉と云ふは

新玉の玉と云ふは別母は才
二天の思ふ如く大群衆中より
諸君の思ふ如く余は早に
始りのみならず其の
御目見狂言我那山の甘き
後日長閑な氣味旅屋
昔年より新玉の玉と云ふ
引續て其の玉と云ふ
はと云ふはと云ふは
の岩を云ふ玉と云ふは

此書乃由日本傳入
 一、其書之體裁
 二、其書之內容
 三、其書之價值
 四、其書之流傳
 五、其書之研究
 六、其書之保存
 七、其書之利用
 八、其書之傳播
 九、其書之影響
 十、其書之地位
 十一、其書之作用
 十二、其書之意義
 十三、其書之地位
 十四、其書之作用
 十五、其書之意義
 十六、其書之地位
 十七、其書之作用
 十八、其書之意義
 十九、其書之地位
 二十、其書之作用
 二十一、其書之意義
 二十二、其書之地位
 二十三、其書之作用
 二十四、其書之意義
 二十五、其書之地位
 二十六、其書之作用
 二十七、其書之意義
 二十八、其書之地位
 二十九、其書之作用
 三十、其書之意義

小田口曰：此書之價值，不在其內容之豐富，而在其體裁之嚴整，且其流傳之廣，影響之遠，實為我國文學史上所罕見。

一、其書之體裁
 二、其書之內容
 三、其書之價值
 四、其書之流傳
 五、其書之研究
 六、其書之保存
 七、其書之利用
 八、其書之傳播
 九、其書之影響
 十、其書之地位
 十一、其書之作用
 十二、其書之意義
 十三、其書之地位
 十四、其書之作用
 十五、其書之意義
 十六、其書之地位
 十七、其書之作用
 十八、其書之意義
 十九、其書之地位
 二十、其書之作用
 二十一、其書之意義
 二十二、其書之地位
 二十三、其書之作用
 二十四、其書之意義
 二十五、其書之地位
 二十六、其書之作用
 二十七、其書之意義
 二十八、其書之地位
 二十九、其書之作用
 三十、其書之意義

新... 18... 20... 21... 22... 23... 24... 25... 26... 27... 28... 29... 30... 31... 32... 33... 34... 35... 36... 37... 38... 39... 40... 41... 42... 43... 44... 45... 46... 47... 48... 49... 50... 51... 52... 53... 54... 55... 56... 57... 58... 59... 60... 61... 62... 63... 64... 65... 66... 67... 68... 69... 70... 71... 72... 73... 74... 75... 76... 77... 78... 79... 80... 81... 82... 83... 84... 85... 86... 87... 88... 89... 90... 91... 92... 93... 94... 95... 96... 97... 98... 99... 100...

喜

假若... 文...

日...

1/2... 1/3... 1/4... 1/5... 1/6... 1/7... 1/8... 1/9... 1/10... 1/11... 1/12... 1/13... 1/14... 1/15... 1/16... 1/17... 1/18... 1/19... 1/20... 1/21... 1/22... 1/23... 1/24... 1/25... 1/26... 1/27... 1/28... 1/29... 1/30... 1/31... 1/32... 1/33... 1/34... 1/35... 1/36... 1/37... 1/38... 1/39... 1/40... 1/41... 1/42... 1/43... 1/44... 1/45... 1/46... 1/47... 1/48... 1/49... 1/50... 1/51... 1/52... 1/53... 1/54... 1/55... 1/56... 1/57... 1/58... 1/59... 1/60... 1/61... 1/62... 1/63... 1/64... 1/65... 1/66... 1/67... 1/68... 1/69... 1/70... 1/71... 1/72... 1/73... 1/74... 1/75... 1/76... 1/77... 1/78... 1/79... 1/80... 1/81... 1/82... 1/83... 1/84... 1/85... 1/86... 1/87... 1/88... 1/89... 1/90... 1/91... 1/92... 1/93... 1/94... 1/95... 1/96... 1/97... 1/98... 1/99... 1/100...

有子高り三入の義功の海に其美の為也
毎行

神田の義功の海に其美の為也
大徳の義功の海に其美の為也
徳川の義功の海に其美の為也

たみ世の空の如く
行の如く

行の如く
徳川の義功の海に其美の為也

有子高り三入の義功の海に其美の為也

有子高り三入の義功の海に其美の為也
有子高り三入の義功の海に其美の為也

有子高り三入の義功の海に其美の為也
有子高り三入の義功の海に其美の為也

有... 法... 公... 事... 之... 人

身... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

武... 之... 人

大神... 之... 人

信... 之... 人

信... 之... 人

信... 之... 人

信... 之... 人

信... 之... 人

有... 之... 人

有... 之... 人

武... 之... 人

白雲山志卷之四

○此山在縣東南二十里

○山頂有石室一

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山

○此山名曰白雲山



一 文

文 卷之六

一 文 卷之六

一 文

一 文

一 文

一 文

一 文

一 文

一 文 卷之六

一 文 卷之六

一 文

一 文

一 文

一 文

一 文

一 文

一 文



一 文

○
一 初 義 德 寺
二 初 義 德 寺
三 初 義 德 寺
四 初 義 德 寺
五 初 義 德 寺
六 初 義 德 寺
七 初 義 德 寺
八 初 義 德 寺
九 初 義 德 寺
十 初 義 德 寺

○
一 初 義 德 寺
二 初 義 德 寺
三 初 義 德 寺
四 初 義 德 寺
五 初 義 德 寺
六 初 義 德 寺
七 初 義 德 寺
八 初 義 德 寺
九 初 義 德 寺
十 初 義 德 寺

三
四
五
六
七
八
九
十

有
其
入

有
其
入

二
三
四
五
六
七
八
九
十

三

身
三
五
七
九
十

有
其
入

必部下... 修

可... 修

長川... 春

長川... 春

長川... 春

長川... 春

長川... 春

長川... 春

一... 行

一... 行

一... 行

一... 行

一... 行

一... 行

一... 行

一... 行

一... 行

一... 行



○ 一丁七五志中八千の事

大園仁政録
左園仁政

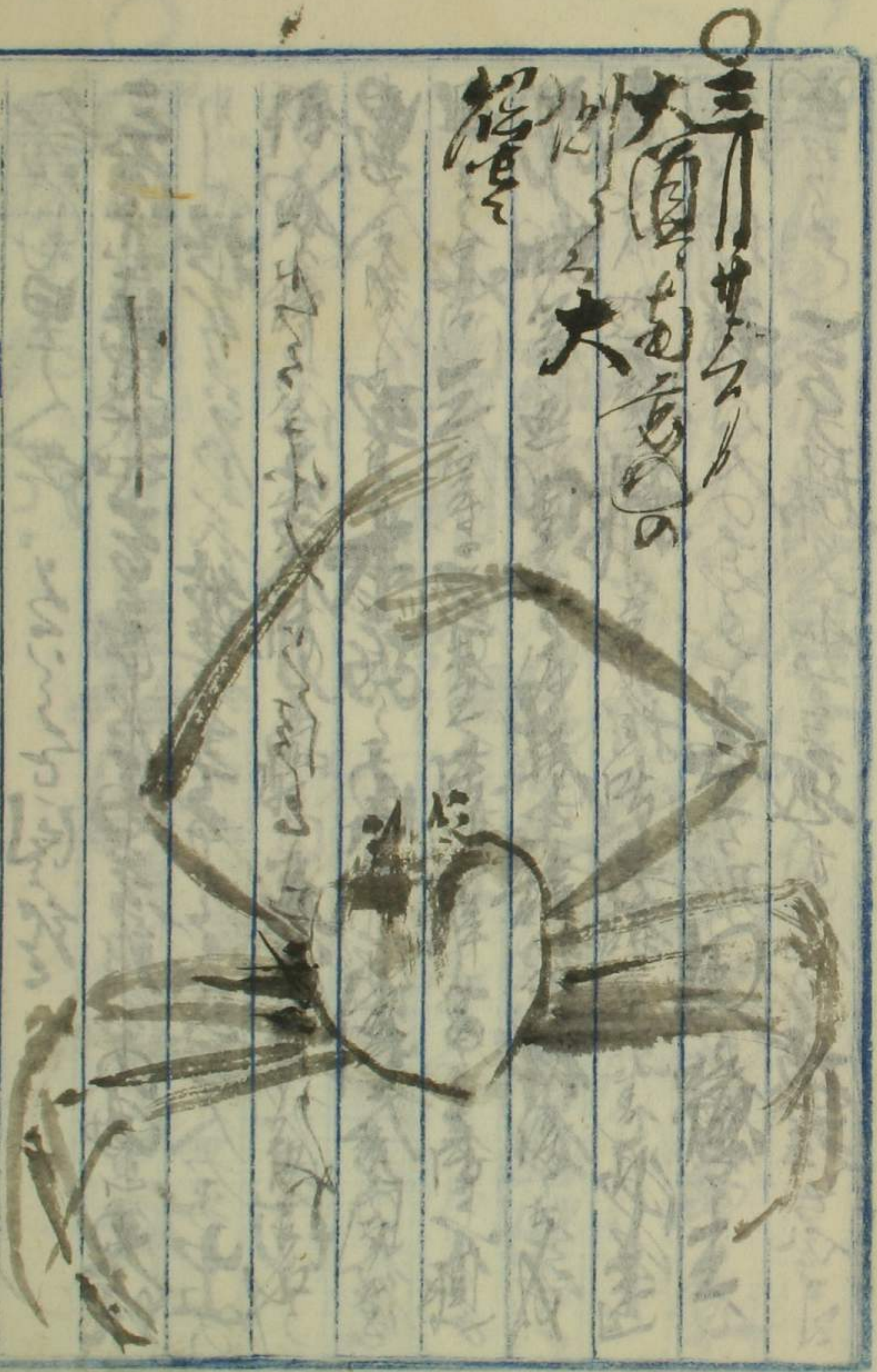
高園伯虎

○ 四月廿五日夕刻年九

海春卷の年
書巻の月

書巻の月
大園仁政

○ 女七七録の事
高島左馬頭



○ 三丁廿五の事
大園仁政
左園仁政

五月廿二日大園花

柳川

柳川

文雅

琴

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

口下... 萬名... 之...

拓区域

全... 回...

平... 大...

あ... 大...

甘... 花...

合... 花...

全... 回...

全... 回...

...

...

前... 花...

...

...

...

...

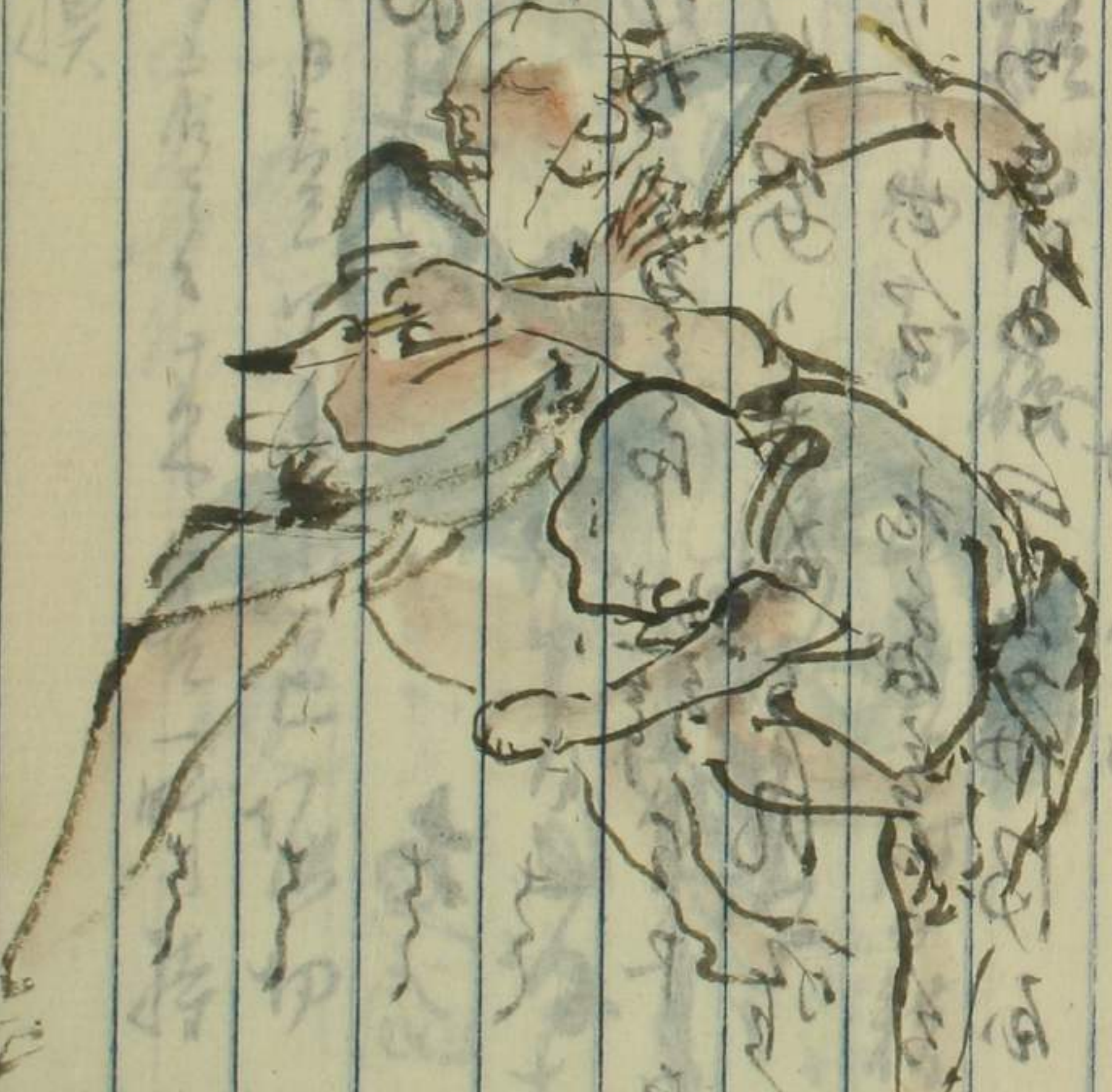
...

...

...

...

...



...

11m 300k

the ...

to: ...

...

...

...

...

...

...

...

○五...

...

...

...

...

...

○
新の... 志... 和... 大...

林... 二... 二... 二...

○
二... 月... 二... 八...

中 希 箱根... 馬... 礎... 枕...

中 寢... 子... 網... 子... 網...

切... 其... 天... 弱... 色... 幕... 噴...

丸... 七... 如... 令... 令... 入...

○
守... 月... 大... 海... 中... 立... 路... 上... 長...

○
口... 方... 木... 三... 三... 日...

丸... 日... 聖... 子... 取... 取...

○
子... 子... 子... 子... 子... 子...

○
早... 後... 平... 天... 是... 七... 色... 印... 七... 治... 治...

右の文字は...

年... 二...

大...

全...

天...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

11月 25日
○ 六
○ 七
○ 八
○ 九
○ 十
○ 十一
○ 十二
○ 十三
○ 十四
○ 十五
○ 十六
○ 十七
○ 十八
○ 十九
○ 二十
○ 二十一
○ 二十二
○ 二十三
○ 二十四
○ 二十五
○ 二十六
○ 二十七
○ 二十八
○ 二十九
○ 三十

11月 25日
○ 六
○ 七
○ 八
○ 九
○ 十
○ 十一
○ 十二
○ 十三
○ 十四
○ 十五
○ 十六
○ 十七
○ 十八
○ 十九
○ 二十
○ 二十一
○ 二十二
○ 二十三
○ 二十四
○ 二十五
○ 二十六
○ 二十七
○ 二十八
○ 二十九
○ 三十

七
高
身
八
夜
金
八
夜
金
八
夜
金

高
身
八
夜
金

木
子
身

此
方
圓
華
下
身
八
夜
金

仲
心
子
身

七
高
身
八
夜
金

高
身
八
夜
金

高
身
八
夜
金

高
身
八
夜
金

<p>二 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p>	<p>〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇</p>	<p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p>
<p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p>	<p>〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇</p>	<p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p> <p>〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇</p>

八月廿二日

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

八ノ月二十日

此の山本元連

比叟法親

九月

九月

坂東彦三は永らく

大橋に憐れむ

法名東雲院紫山彦風

善寺と改り生玉丁浄蓮

寺人

雷名世より

真寺

惜

心

と

記者

七

古

記

十

年

Table with columns of text and numbers, including '二刀' and '自木'.

Table with columns of text and numbers, including '自木'.

<p>○ 陸奥 ○ 本州 ○ 陸奥 ○ 本州 ○ 陸奥 ○ 本州 ○ 陸奥 ○ 本州 ○ 陸奥 ○ 本州</p>	<p>陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州</p>
<p>陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州</p>	<p>陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州 陸奥 本州</p>

陸奥大作 八月廿二日

○ 陸奥
○ 本州
○ 陸奥
○ 本州
○ 陸奥
○ 本州

陸奥国志 卷之二
陸奥国志 卷之二
陸奥国志 卷之二
陸奥国志 卷之二
陸奥国志 卷之二

○ 陸奥
○ 本州
○ 陸奥
○ 本州
○ 陸奥
○ 本州
○ 陸奥
○ 本州
○ 陸奥
○ 本州

陸奥国志 卷之二
陸奥国志 卷之二
陸奥国志 卷之二
陸奥国志 卷之二

舞台地

八月廿二日

西村 中村 小川

大田

大田

小川 伊豆 須賀

上

大田 須賀 伊豆 小川

伊豆 須賀 小川

大田

大田 須賀 伊豆 小川

大田 須賀 伊豆 小川

Handwritten text at the top of the right page, likely bleed-through from the reverse side. Includes the name "BENJAMIN" and other illegible characters.

Main handwritten text on the right page, organized into vertical columns. Includes large characters such as "九年" (Year 9), "九年" (Year 9), and "九年" (Year 9). Other characters include "九年" (Year 9), "九年" (Year 9), and "九年" (Year 9).

Handwritten text at the top of the left page, likely bleed-through from the reverse side. Includes the name "BENJAMIN" and other illegible characters.

Main handwritten text on the left page, organized into vertical columns. Includes large characters such as "九年" (Year 9), "九年" (Year 9), and "九年" (Year 9). Other characters include "九年" (Year 9), "九年" (Year 9), and "九年" (Year 9).

九月十七日

晋天恩公藏

大德

林上

特

上

...

...

十月...

...

...

...

...

...

...

...



○ *[Faint vertical text]*
支又 *[Large vertical characters]*

○ *[Faint vertical text]*
中 *[Large vertical characters]*

○ *[Faint vertical text]*
新 *[Large vertical characters]*

○ *[Faint vertical text]*
新 *[Large vertical characters]*

○ *[Faint vertical text]*
新 *[Large vertical characters]*

○ *[Faint vertical text]*
新 *[Large vertical characters]*

○ *[Faint vertical text]*
信 *[Large vertical characters]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*

○ *[Faint vertical text]*



一 夫力 德 誠
 二 夫力 德 誠
 三 夫力 德 誠
 四 夫力 德 誠
 五 夫力 德 誠
 六 夫力 德 誠
 七 夫力 德 誠
 八 夫力 德 誠
 九 夫力 德 誠
 十 夫力 德 誠

一 夫力 德 誠
 二 夫力 德 誠
 三 夫力 德 誠
 四 夫力 德 誠
 五 夫力 德 誠
 六 夫力 德 誠
 七 夫力 德 誠
 八 夫力 德 誠
 九 夫力 德 誠
 十 夫力 德 誠

Faint handwritten notes in the top right corner of the right page.

○身之存
曲の存
大漢を八

Faint handwritten notes in the middle of the right page.
口
西道
山常
人好

十了十七
の
の
の

○了
の
の
の

Faint handwritten notes in the bottom left of the right page.
三
春

Faint handwritten notes in the top left of the left page.

○了
の
の
の

Faint handwritten notes in the bottom left of the left page.
三
春

○去月五日...

每...

竹...

○去月...

...

...

...

...

...

中...

形...

...

...

...

...

...

...



大 了 女 大

Handwritten Japanese text in a cursive style, likely a commentary or a list of related terms. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are somewhat faded and difficult to decipher precisely, but appear to include words like '大', '了', '女', and '大' again, possibly corresponding to the illustrations on the left page.

Vertical text on the left side of the page, including the characters "壽" (Shou) and "真" (Ma).



文政九年戊七月十日
江原守七郎
早瀬平

東七面壽男
太加志七郎
夫新平



一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

嘉永三年四月廿七日
同好會亭
嘉永三年四月廿七日
同好會亭

- 三 平野春策
- 三 小寺左衛門
- 四 柴田義雄
- 神谷喜左衛門
- 浅井侯一節
- 大嶋銅八
- 神谷傳兵衛
- 西條信房

